

## 職員による自己評価

## A環境面

- ・職員配置については、今後検討が必要かもしれない。
- ・バリアフリーについては、構造上難しい。
- ・スペースは大人数になると窮屈に感じることもある。

## B児童への支援内容

- ・活動内容については、検討が必要。

## C関係機関との連携

- ・関係機関との情報共有や地域の方々との交流については今後の課題

## D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者同士の連携については、ご希望があれば検討をしていきたい。
- ・様子や課題についての情報共有、相談等については大切に行っている。

## E非常対応

- ・マニュアルの策定は行っているものの、周知については課題がある。

## 保護者による評価

## A環境面

- ・スペース、人員配置共に概ね満足。

## B児童への支援内容

- ・ニーズや課題を分析した上で計画書が作成されていると感じている。
- ・活動内容についてはもう少し工夫をしてほしいと感じている方もいる。
- ・地域の子どもたち等との交流はできていない。

## C事業所からの情報発信

- ・通信等での情報発信に概ね満足。
- ・保護者同士の連携はできていない。
- ・様子や課題についての情報共有、相談、子どもや保護者との意思疎通については皆様が満足。

## D非常対応

- ・各種マニュアルの策定・周知、避難訓練についての満足度が低い。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

保護者との様々な情報共有、相談、子どもや保護者との意思疎通、活動内容の周知については満足度が高い。

子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているとスタッフも保護者も感じている。

バリアフリー等の配慮、保護者同士の連携、地域の方々との交流については、満足度が低い。

## 【相違点】

配置人数、スペース、活動内容の工夫については、保護者の満足度は高いがスタッフは課題があると感じている。

各種マニュアルの策定・周知、避難訓練については、保護者の満足度は高くなく、スタッフは比較的高い傾向にある。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

子どもや保護者との意思疎通、相談・助言を丁寧に行っている。

子どもの様子や課題についての情報共有については、送迎時やモニタリング等の場で丁寧に行っている。

ニーズや課題が客観的に分析された腕、個別支援計画を作成することができている。

### 事業所の改善点

建物のバリアフリー化

地域の方々との交流

各種マニュアルや避難訓練についての発信

関係機関との連携

活動の内容

以上については検討が必要である。

ただし、バリアフリー化については、一軒家という構造上の難しさがあるため、可能な範囲での対応をしていく。

### 事業所の改善への取り組み

各種マニュアルや避難訓練の発信については、通信を通して行っていく。

日頃の活動報告や緊急時に利用できるものとして、SNSの活用を検討していく。

活動内容については、スタッフ間で検討していく。

関係機関との連携は、必要に応じて行っていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

意思疎通や情報共有、相談・助言については、皆様にご満足いただけている様子で、よろこびとして大切にしてきたことをご評価いただけたのではないかと思います。また、皆様がよろこびに来ることを楽しみにしていただくこと、事業所の支援にご満足いただけていることが大変嬉しく感じました。今後とも、変わらずに歩んでいきたいと思っています。

情報の発信や活動内容については、より良いものとしていくことができるように今後検討していきたいと思いました。

事業所名

よろこび

担当者

小林 真起子